

## 【エコハウス 断熱材編・その2】

第7回 設計部 小澤宏告

ご無沙汰しております。設計の小澤です。

今回はエコハウスの家でどこにどの断熱を使い、熱が逃げやすい窓(サッシ)を使えば良いのか？

宿題にして終わりました。

お勧めの断熱材と窓(サッシ)の前に、少しエネルギー(力、音、熱等)のお話をしましょう。

エネルギー(力、音、熱)を遮断しようとするすると抑え込まれたエネルギーは跳ね返り、抑え込みの弱いところへ移動します。そして、そこから逃げようとします。

カラオケボックスでドアが閉まっていると外にはあまり音は逃げません。

ドリンクなど運んでくる際、ドアが開きますとそこから音は逃げて(漏れて)いきます。

エネルギーは弱いところから逃げて行こうとするのです。



住宅の場合、どんなに高断熱の施工をしても隙間があるとそこから逃げて行きます。(前回の話の通り)

隙間をなくすとそこから空気は逃げません。

しかし、断熱の隙間がある場合はどうでしょう・・・(空気中には水分もあります)

熱は逃げます。

熱だけ逃げるのなら少し寒い(熱い)だけで済みますが、暖かい空気が冷たい空気へと逃げるときは空気中の水分が水として現れます。これが結露です。

結露で発生したカビをダニが食べる・・・ダニにとって住みやすい環境になってしまいます。

気密と断熱欠損が無い(通期にわたっても起こらない)断熱材が必要不可欠となります。

隙間なく隅ずみまで断熱が施工できることが望ましいのです。

『隅ずみ迄断熱。湿気を逃がす断熱材。経年変化がない(少ない)断熱。性能保証のある断熱』で調べてください。

性能保証のある断熱』で調べてください。

答えはそこにありますと思います。

断熱の話は 奥が深いです。講釈が長くなりました。

窓(サッシ)の話は次回に。



## LINE 公式アカウントはじめました 友だち募集中!

イベント情報や家づくりお役立情報などいち早くお届けします!

チャット機能ではご質問やご相談などにお答えいたします♪

ご契約前のお客様▼▼



オーナー様専用▼▼

